

事業名		傷痍軍人会補助金				作成日	24年 5月 31日			
実施方法		<input type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> その他				課名	市民福祉課			
総合計画上の位置付け	基本指針	(2) 福祉・健康づくりの充実で安心のまちづくり～福祉・健康～				班名	地域福祉班			
	施策	<3>安心、ゆとりのある福祉社会の実現				事業分類	1	公的関与	9	
	主要施策	②地域福祉社会づくりの推進				予算費目	会計	一般会計		
	牽引プロジェクト	<input type="checkbox"/> いきいきわくわく観光コンピニエンス構想 <input type="checkbox"/> めざせ日本一！いきいき食の原産国構想 <input type="checkbox"/> 古代浪漫の宝庫！歴史と文化の島づくり構想 <input type="checkbox"/> 蛍が乱舞！悠々快適いきいきアイランド構想					款	民生費		
個別計画名										
行財政改革大綱上の位置づけ	推進施策									
	重点事項									
市民の参画・協働の手段										
事業の対象・目的・内容	対象（誰を、何を）	傷痍軍人会				目的（どういう状態にしたいのか）	戦争の悲惨さを風化させることなく恒久平和の趣旨を育むとともに、戦傷者への福祉増進を図ることを目的とする。			
	事業内容（どのような方法で、何を行うのか）									
	高齢化による会員の減少、会議参加費用の増加、連絡・巡回等の費用の増加による資金力の低下を防ぎ、健全な運営を継続させるため、旧町単位に組織された各団体に一律24,000円を運営費助成金として交付。									
事業期間	平成 年度 ～ 平成 年度（ 年間）				<input checked="" type="checkbox"/> 期間設定なし					
根拠法令・要綱等	吉崎市補助金等交付規則									
事業費 / 年度	平成 22 年度（決算）		平成 23 年度（決算）		平成 24 年度（予算）					
直接事業費（千円）	72		72		72					
財源内訳	国・県支出金									
	地方債									
	その他特定財源									
	一般財源	72		72		72				
人件費（千円）	58		58		58					
内訳	職員（人・千円）	0.01 人	58	0.01 人	58	0.01 人	58			
	嘱託（人・千円）	人	0	人	0	人	0			
活動・成果指標	活動・成果指標名 (事業計画の進捗状況・達成度を示す。)		単位	22年度 (実績)	23年度 (目標)		24年度 (目標)	25年度 (目標)		
	①	加入者数	人	28	28	28	28			
	②									
	③									
設定理由	目標設定になじまないため、傷痍軍人会加入者数を示している。									

【 1 次 評 価 】					
妥当性	市民のニーズを反映しているか	<input checked="" type="checkbox"/> 反映している	<input type="checkbox"/> 一部反映していない	<input type="checkbox"/> 反映していない	
	行政が実施することが適当か	<input checked="" type="checkbox"/> 適当である	<input type="checkbox"/> 一部適当でない	<input type="checkbox"/> 適当でない	
	国や県、民間等のサービスと重複していないか	<input checked="" type="checkbox"/> 重複していない	<input type="checkbox"/> 一部重複している	<input type="checkbox"/> 重複している	
	社会情勢の変化で実施意義が低下していないか	<input checked="" type="checkbox"/> 低下していない	<input type="checkbox"/> 一部低下している	<input type="checkbox"/> 低下している	
説明	各対象団体におけるの援護活動、戦争を風化させない取り組みなど、社会的に団体の役割は大きい。また、岐阜市において、「戦傷病者特別援護法」に基づく援護措置受給者は32名で、各対象団体はその構成員への啓発・指導等に大きな役割を果たしている。よって、援護事業の一環として、行政による各対象団体への助成は妥当と考える。				
有効性	施策の実現のため必要な事業か	<input checked="" type="checkbox"/> 必要である	<input type="checkbox"/> 一部必要でない	<input type="checkbox"/> 必要でない	
	目的を達成するための事業内容となっているか	<input checked="" type="checkbox"/> なっている	<input type="checkbox"/> 一部なっていない	<input type="checkbox"/> なっていない	
	施策の中で類似・重複した事務事業がないか	<input checked="" type="checkbox"/> 重複はない	<input type="checkbox"/> 一部重複している	<input type="checkbox"/> 重複している	
	事業継続により成果の向上が図られるか	<input checked="" type="checkbox"/> 図られる	<input type="checkbox"/> 一部図られない	<input type="checkbox"/> 図られない	
説明	対象団体の構成員が年々高齢化し、減少しているため、組織の活動内容を継続的に組み立て充実も図っていく上で、現状の範囲での資金助成は妥当であり有効である。				
達成度	事業は当初の計画どおり実施されたか	<input checked="" type="checkbox"/> 実施された	<input type="checkbox"/> 一部未実施	<input type="checkbox"/> 実施されなかった	
	成果指標は達成したか	<input checked="" type="checkbox"/> 全ての指標達成	<input type="checkbox"/> 一部未達成	<input type="checkbox"/> 達成しなかった	
説明	当初予定の対象3団体に交付した。				
効率性	コストや業務量に見合った成果が得られたか	<input checked="" type="checkbox"/> 得られた	<input type="checkbox"/> 一部得られていない	<input type="checkbox"/> 得られていない	
	手段等の見直しによりコスト削減の余地はないか	<input checked="" type="checkbox"/> 余地はない	<input type="checkbox"/> 一部余地がある	<input type="checkbox"/> 余地がある	
説明	国においては、傷痍軍人の精神的苦痛に対して、慰藉のための諸事業を継続的に行っているが、市としてもこの趣旨にならない、援護の一環として行うべき事業である。民間を活用する性質のものではない。				
個別評価	妥当性	4	有効性	4	4 = 適切・十分 3 = 概ね適切 2 = やや不適切・やや不十分 1 = 不適切・不十分
	達成度	4	効率性	4	
総合評価		A A = 拡大・現状維持 B = 事業の進め方の改善検討 C = 事業規模や実施主体の見直し検討 D = 抜本的見直し、休廃止の検討			
今後の方針	方針	<input type="checkbox"/> 拡大 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> その他の見直し <input type="checkbox"/> 休・廃止 <input type="checkbox"/> H23年度で事業終了			
	今後の改革・改善目標				

【 2 次 評 価 】 対象 対象外

今後の方針	方針	<input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 休・廃止
	意見等	課の方針どおり